

みどりの風

2026

4

令和8年

今月の表紙「ひとやすみ」(撮影：嶋田 志織 様) 第14回 未来に伝えたい農業・農村の風景フォトコンテスト入選作品



CONTENTS

- 推薦候補者4名全員が当選
- 過去最大の予算案を掲げ論戦
～第221特別国会が開会～
- 推薦状授与式を実施
- 参議院議員 藤木しんや氏コラム
- 参議院議員 東野ひでき氏コラム
- 農政連総支部だより(芦北)
- 中央会・連合会からのお知らせ

あぜみち

4月1日から自転車にも交通違反通告制度が適用される。この交通違反通告制度とは、運転者が違反行為(比較的軽微な道路交通法違反行為)をした場合に反則金を納めると、刑事裁判や家庭裁判所の審判を受けないで事件が処理される制度だ。

反則行為をして警察官から反則告知を受けた場合、「交通反則告知書(青キップ)」と「納付書」を渡される。この青キップをもらったことのある方もいるだろう。青キップを交付されたら、原則7日以内に銀行や郵便局の窓口で支払いを行うことになる。この反則金を納付しないまましていると、通告書が届きその後も支払いを行わないと、刑事裁判に移行する。前科が付くこともあるので注意が必要だ。

さて、4月から新たに始まる自転車への青キップの適用は、対象年齢が16歳以上からとなっている。

では、どんな違反が検挙され青キップを切られるのか。信号無視、一時不停止、右側通行、無灯火などがあり、反則金は5,000円から7,000円である。自転車運転でよく見かける携帯電話使用は、反則金12,000円と高額である。

ここで気を付けておかなければならないのが、飲酒運転である。自動車運転だけでなく自転車運転も禁止されており、行政処分と刑事処分の対象となる。軽い気持ちで、酒が抜けたらどうと勝手に解釈して酒気帯び運転を行うと飲酒運転になり検挙される。

昨年の全国の交通事故死者数は前年より116人少ない2,547人で、統計が残る昭和23年以降で最も少なかった。政府が掲げる目標は2千である。熊本県の死者数は41人であった。平成の初めごろは150人を超えていたので大きく減少している。

推薦候補者4名全員が当選

第51回衆議院議員総選挙 投票結果

第51回衆議院議員総選挙は2月8日に投票が行われ、県内小選挙区では農政連が推薦した自民党候補者の1区木原稔氏、2区西野太亮氏、3区坂本哲志氏、4区金子恭之氏の4名全員がめでたく当選となり全議席が確定しました。

自民党は公示前の198議席から大きく増やし、316議席の獲得、与党の日本維新の会も2議席増の36議席で合わせて与党で352議席となり、過半数(233議席)を大きく超えました。単独で定数の3分の2を上回り、ひとつの政党が獲得した議席数としては、戦後最多となりました。

一方、衆議院解散直前に立憲民主党と公明党が新たに結成した「中道改革連合」は、小選挙区および比例区で議席を伸ばすことができず、公示前167議席から大幅に議席を減らし、49議席となりました。

国民民主党は1議席増の28議席、参政党が15議席、チームみらいが11議席を獲得し躍進しました。

総務省は、第51回衆議院選の確定投票率が小選挙区で56.26%だったと発表しました。前回(令和6年)の53.85%を2.41ポイント上回ったものの戦後5番目に低い水準となりました。

一方、県選挙管理委員会がまとめた熊本県内全体の投票率は、小選挙区で56.

70%となり、前回衆議院選の52.06%から4.64ポイント上昇したものの、戦後4番目に低い水準にとどまりました。

今回は、1月召集の通常国会の冒頭で衆議院解散を行い、投票までの期間が16日間となる戦後最短の選挙期間となりました。併せて1月という例年のない豪雪の時期とぶつかり、投票用紙が間に合わない、掲示板が設置できない、選挙公報が投票日のギリギリに到着するなど、気候・時間的な問題もあり、投票率は伸び悩んだものとみられています。

今国会において農業政策では、自民党が公約に掲げた「食料安全保障の強化のため、すべての田畑フル活用等による国内の農業生産の増大を第一に、特に輸入依存度の高い食料・生産資材の国内生産力を拡大し、安定的な輸入と備蓄を確保する」とした施策の具体化と関係予算の十分な確保、さらに水田活用のための恒久的な予算確保が焦点となります。

当選された4名の方々には、食料安全保障の強化や、農業・農村の所得増大などの公約等の具体化に取り組み、我々と締結した政策協定や生産現場の声を反映した政策の実現に向けた活躍を期待します。

当選を受けて、今後取り組む政策などについては、下記のように語っています。

《1区 木原稔氏》



▲第1区
木原 稔(56才)
当選7回

官房長官として地元に戻らずに国を守るという職責を果たすことができました。また、TSMCの会長と話をを行い新たな第2工場での3ナノのロジック半導体の生産を表明されたことを受け、熊本では交通渋滞の問題をはじめ諸問題が発生している。諸課題の解決に向けてチーム熊本で丸となって取り組んでいく。

《2区 西野太亮氏》



▲第2区
西野 太亮(47才)
当選3回

2期目もがむしゃらに働き、内閣府大臣政務官を務めさせてもらった。

3期目、私の背中に皆さんの期待や思いをのせていただいた。前に進むしかない。国と地元自治体の連携を深め、経済成長や農林水産業の発展に力を尽くす。

《3区 坂本哲志氏》



▲第3区
坂本 哲志(75才)
当選9回

高齢化、人口減少、そして担い手不足、物価高、人出不足、さらには渋滞あるいは環境問題への心配など、皆さんの想いをしっかりと受け止めて、丁寧なきめ細かく、着実に解決に向けて全力で政治にまい進していく。

《4区 金子恭之氏》



▲第4区
金子 恭之(65才)
当選10回

地域の繁栄なくして国の繁栄無し。被災地であるということも考えながら、国民がそして熊本4区の皆さん方が安心して、快適な生活が送れるように、さらに精進して頑張っていく。責任の重み、期待の大きさも踏まえ、皆さんの代表として国会のど真ん中で頑張っていく。

過去最大の予算案を掲げ論戦〜第221特別国会が開会〜

第221特別国会が2月18日召集されました。会期は7月17日までの150日間となります。

今国会の争点の一つが令和8年度当初予算案です。第105代総理大臣に就任した高市早苗首相が掲げる「責任ある積極財政」を巡り、一般会計の歳出総額は122兆3,092億円と過去最大の予算を計上しました。政府は、3月末の年度内での予算成立を目標としています。

【高市首相の施政方針演説】

今国会の首相施政方針演説の中で、高市早苗首相は、「国土保全に加え、食料安全保障の確保のために、農林水産業の振興が重要です。供給と需要を伸ばし、食料自給率の向上を実現します。農業については、全ての田畑をフル活用すべく、5年間の農業構造転換集中対策期間」において別枠予算を確保します。その上で、農地の大区画化や中山間地域におけるきめ細やかな整備、共同利用施設の再編・合理化を進めます。コメについては、需要拡大輸出拡大を図りつつ、供給力を強化することにより、安定供給を図ります」と表明しました。

衆議院では過半数を獲得した高市政権が臨む特別国会は、衆議院では予算案が成立しても、参議院では過半数に届いていな

いこともあり、一部野党の賛成なしには予算案が成立しないこととなります。

政府・与党は経済成長の実現に向けて官民協力で投資を促進し、2年に限った飲食物品の消費税率ゼロの検討を加速すると強調しました。

【農政関係予算】

農政では、新たな食料・農業・農村基本計画を踏まえ、農業構造転換集中対策を着実に実施しつつ、食料安全保障の強化、

農業の持続的な発展、農村の振興、環境と調和のとれた食料システムの確立等に向けた農林水産政策を推進し、農林水産業の持続可能な成長を実現するため、総額2兆2,956億円を計上しました。前年度より250億円の増加となっています。

その他、今国会で提出される農林水産関連法案は、左記のとおりとなっています。

特別国会で提出される農林水産関連法案

1. 農業の構造転換に必要な財源確保に向けた法案

農業の構造転換に必要な財源の確保に向け、国が2026～29年度の4年間、日本中央競馬会(JRA)から毎年250億円の拠出を受けられるようにする

2. 日本中央競馬会法改正案

競馬事業に支障がない範囲で、地域住民などがJRAの施設や設備を利用できるようにする

3. 農林中央金庫法改正案

農林中金の理事会の専門性を高めるため、外部有識者が理事になれるようにする。農林中金が農業法人などに出資する際の規制を緩和する

4. 農業近代化資金融通法改正案

農業近代化資金の使い勝手をよくするため、①貸付限度額の引き上げ②償還期限の延長③資金の使い道に農地の取得などを追加——を行う

5. 家畜伝染病予防法改正案

豚熱の発生農場に義務付けている全頭殺処分を緩和する。海外から違法に持ち込まれた畜産物の取り締まりを強化する

6. 食糧法改正案

米の民間備蓄制度の創設を盛り込む。米の流通実態の把握に向け、一定の事業規模を持つ事業者には在庫量などの定期報告を求める

7. 新品種の育成・普及に向けた法案

農業者の減少や気候変動などの重要課題の解決につながる新品種について、国主導で開発から普及まで一気通貫で進める体制を強化する

8. 種苗法改正案

農作物の優良品種の海外流出を防ぐため、育成者権の有効期間を延長する。品種登録を出願すれば登録前でも無断使用を差し止められるようにする

推薦状授与式を実施

1月27日公示、2月8日投票の第51回衆議院議員総選挙に先立ち、熊本県農政連は、1月26日推薦状の交付式を行い、宮本隆幸委員長から熊本県選挙区から出馬する前ページの4人の候補者へ推薦状を交付し、各候補者と政策協定書を取り交わしました。

協定書の主な項目として、生産資材価格高騰対策、適正な価格形成の実現と国民理解の醸成、米価安定対策と水田・畑作政策の適正な見直し、消費税見直しに関する農業者経営負担への配慮等を求めました。

農政連の宮本隆幸委員長は「農業者が希望と意欲を持って営農に取り組み、活力ある地域農業と豊かな地域社会を実現するために、国政に復帰されることを期待する」と挨拶しました。



▲農政連から推薦を受けた4名の候補者

【令和8年特別国会が開会】

第51回衆議院議員選挙(1月27日公示、2月8日投票)を経て、2月18日に特別国会が召集されました。今国会の会期は、通常国会と同様、150日間を想定し、7月17日閉会と設定されました。本国会では、引き続き参議院農林水産委員長として役目を果たしていきます。今国会には、農林水産関連では、閣法5種類の法案(①日本中央競馬会の国庫納付金に関する臨時措置法案および日本中央競馬法改正法案、②農林中央金庫法改正法案および近代化資金融通法改正法案、③家畜伝染病予防法改正法案、④食糧法改正法案、⑤重要品種育成・種苗生産振興法案および種苗法関連改正法案)および議員立法1法案(⑥食育基本法改正法案)が提出される方向で調整されています。

①は、農業構造転換転換集中対策に必要な財源確保のため、JRA特別積立金の一部を農水省当初予算に繰り入れる特例の創設等を目的とした法案です。

②は、農業近代化資金の貸し付け条件の拡充、農林中央金庫のガバナンス強化等を目的とした法案です。

③は、豚熱発生時の対応の柔軟化や牛のランピースキン病の家畜伝染病追加、違反畜産物への対応拡大等を目的とした法案です。

④は、米穀にかかるとる届出事業社の対象拡大、定期的在庫数量報告の義務化、政府備蓄の目的見直し(供給不足にも対応)、民間備蓄制度創設、需要に応じた生産の法定化等を目的とした

法案です。

⑤は、重要品種普及にかかるとる認定制度の創設、育成者権の出願義務化や育成者権の存続期間の延長等を目的とした法案です。

⑥は、大人の食育推進や学校教育での農林漁業教育の実践推進等を目的とした法案です。

いずれも、自民党内で議論を積み重ねてきており、重要な法案ばかりです。これら法案は、参議院農林水産委員会審議されます。私が農林水産委員長に任命されてから初めての本格的な法案審議となりますが、委員長として、適切な法案審議に向けて、精一杯尽力して参ります。

【JA全国青年大会で挨拶】

2月18日(水)、第72回JA全国青年大会が東京都練馬文化センターにて開催され、全国から1,000名以上の盟友が集まる中で挨拶をさせていただきました。特別国会の開会日と重なったため、1日目が終了するタイミングでの挨拶となりました。

私は、「私の国会議員としての最大の想いは、皆さん青年農業者が20年30年と営農が継続でき、次世代に引き継ぐこと、まさに再生産可能な農業を実現すること」です。そのために全力で取り組みます。皆さんもしっかりと地域で奮闘してください。挨拶させていただきます。



▲2月18日 JA全国青年大会で挨拶

現場と共に

【衆議院議員総選挙が終わりました】

第51回衆議院議員通常総選挙が2月8日に行われました。自由民主党は小選挙区で249、比例代表で67の計316もの議席を獲得し、高市政権は強い民意で信任されたものと考えております。私が全国各地で応援に入った候補も全員当選を果たしました。まさに歴史的な勝利と言えます。

しかしながら、参議院では少数与党の状況が続く、これまでと同じく、国会運営は綱渡りの状況。私は、持続可能な農業を実現するため、これからも現場主義を貫き、つくる人・たべる人、そしてそれを支える人たちの苦勞がしっかりと評価されることにより、安心して食卓を囲むことができるよう、これからも全力を尽くしてまいります。

【石川県農協青壮年部協議会「設立70年記念式典」に出席】

1月24日(土)に、石川県農協青壮年部協議会が開催した「設立70年記念式典」に出席し、お祝いの言葉を述べさせていただきました。

式典出席者には立派な記念誌も配付され、石川県農協青壮年部協議会の70年の歩みを振り返ることが出来ます。70年前の発足時には4,520名、ピーク時の昭和34年には11,744名を数えた盟友数も、直近では1,889名と大きく減少しました。

基幹的農業者数が減少する中、盟友数の減少はやむを得ないのかもしれない。私には青壮年部盟友世代の若手農業者が誇りをもって営農に取り組む、次代に繋いでいくことができるよう、これからも農業現場の声を農業政策に反映させてまいります！

【福岡県農政連「久留米地区協議会農政研修会」に出席】

2月14日(土)に開催された「福岡県農政連「久留米地区協議会農政研修会」に出席しました。総選挙直後の慌ただしい中、100名近くの皆さんにお集まりいただきました。

私からは直近の衆議院議員総選挙や農政課題等に触れつつ、国政報告をさせていただきました。質疑応答もあり、現場における課題について教えていただきました。お集まりいただいた皆さんには心より感謝申し上げます。



▲福岡県農政連で国政報告を行いました

芦北総支部だよ

県下には十一の総支部がありこの活動状況を毎月順次紹介していきます。

今回は、「農政連芦北総支部」(白坂主税総支部長・J Aあしきた組合長、松葉仁志事務局長・J Aあしきた企画管理部長)を紹介します。

●農政連芦北総支部の紹介

芦北地区総支部は、熊本県南部に位置し、水俣市、津奈木町、芦北町の1市2町を管内としています。管内は平地が少なく、入り江の多い不知火海は、リアス式の丘陵地帯が海岸線まで接近しています。温暖な気候と、この傾斜地を利用した果樹栽培が盛んです。平野部ではタマネギ特有の辛味が少ない「サラたまちゃん」の栽培が行われ特産となっています。近年は愛が育てるあしきた牛」として、地域ブランド牛の生産にも力を入れています。

●通常総会

9月29日に第35回通常総会をJ Aあしきた本所で開きました。農業をめぐる情勢は、気候変動による高温障害、頻発する自然災害、世界的な食料生産の不安定化が顕在化する中、国民への安全・安心な食料を安定して供給する食料安全保障の強化に向けた施策が求められています。①総合的な農政の確立と農業政策・予算要望②課題別、品目別農政対策の強化③農政推進体制及び情報提供の強化に取り組むことを決議しました。



▲農政への想いを熱く語る東野ひでき氏

白坂主税総支部長は「農業者の切実な要望を国や県、関係機関へ届けるために、これまで以上に総支部、支部活動の強化に取り組んでいく」と話しました。

●東野ひできキャラバンを応援

第27回参議院選挙においては、全国農政連と熊本県農政連が全国比例代表として推薦した東野ひでき氏が、7月11日にJ Aあしきた本所を訪れました。生産者代表や青壮年部、女性部、J A役員らが参加し、激励を送りました。演説後にはひとりひとり握手を交わしJ Aグループ一丸となって選挙戦に取り組むことを確認しました。

●馬場せいし氏遊説

7月10日、道の駅芦北でこぼんこて、参議院熊本県選挙区に出馬した馬場せいし氏が遊説で訪れました。多くの支援者が集まり、一丸となって選挙戦に取り組むことを確認しました。遊説で馬場せいし氏は「熊本地震と熊本豪雨からの復興などに取り組んできた。これを創造的復興へつなげることが重要」と話しました。



▲ガンバロウ三唱で結束を示す馬場せいし氏と支援者

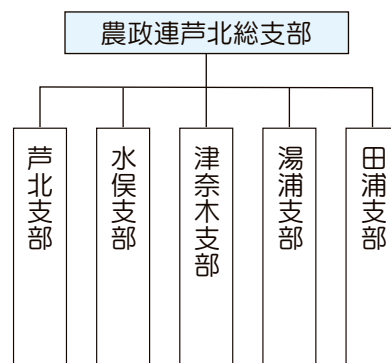
主な生産部会・組織数

組織名	構成員数(人)
果樹部会	376
柿部会	45
畜産部会	22
施設園芸部会	5
サラたまちゃん部会	62
もみすり部会	21
茶部会	12
花卉部会	11

組織名	構成員数(人)
たけのこ部会	38
一寸そらまめ部会	27
青壮年部会	32
女性部会	439
青色申告会	288
ファーマーズマーケット出荷者協議会	330
大野温泉出荷者協議会	105

(令和7年3月31日現在)

農政連芦北総支部構成図



未来塾修了レポート発表会開催

JA熊本中央会は1月16日、合志市のJA熊本教育センターでJA戦略型中核人材育成研修「未来塾」修了レポート発表会を開催しました。県内JA連合会から選抜された未来塾の塾生10名は全10回にわたり、JAの理念、経営学、企画提案手法などを学び、当日の発表会では、JAが抱える課題や問題を提起し、解決策を提案しました。最優秀賞には、JAあまくさの中田美加さんが選ばれました。

中田さんは「天草から発信 新時代の農業×観光×滞在型体験で農家と地域を支える収益の力」をテーマとして発表。天草地域の豊かな観光資源と農業体験を組み合わせた滞在型リゾートの仕組みを提案しました。「農家も体験提供による新たな収益を得られ、観光客が農業体験を通じて滞在期間を延ばすことで、地域全体の観光収益向上が期待される」と説明し、「新時代の農業モデルが農家と地域に貢献できる」と力強く訴えました。

審査委員長を務めた熊本学園大学大学院の新改敬英教授は「若い力を発揮し、新たな挑戦を恐れず積極的に取り組んでいただきたい」と期待を寄せました。最優秀賞に選ばれた中田さん

は2月に東京で開かれた「第17回JA戦略型中核人材育成研修全国研究発表会」に熊本県代表として出場しました。他の受賞者は次の通り。かっこ内はJA名。

▽優秀賞＝鎌守武(熊本うき) 池田将臣(やつしろ)



▲受賞した鎌守さん(左)、中田さん(中)、池田さん

JA経済連

「冬土用末の日」にちなみ赤い食べ物で縁起担ぎ

第50回JA植木まつりで感謝のふるまいイベント開催

JA熊本経済連は2月1日、第50回JA植木まつりの開催を記念し、来場者への感謝を込めたふるまいイベントを実施しました。

当日は、赤い食べ物を食べると縁起が良いとされている「冬土用末の日」の認知拡大と、文化定着を目指す「プロモーション」の二環として、「赤い食べ物」を使った「トマトみそ汁」や「ミニトマト」アレンジを来場者に振る舞いました。

午前11時の開始前から200名を超える来場者が列を作り、会場は大いに賑わいを見せました。同連園芸販売課の担当者は「JA植木まつりは、生産者や地域の皆さまのご支援のおかげで、今年で50回目を迎えることができました。心から感謝したい。温かいトマトみそ汁で元気に冬を乗り越えていただきたい」と話しました。

JA植木まつりは、緑化木事業の振興・発展と「産地直売」によるふれあいの場を提供することを目的に、2月23日まで開催されました。期間中の週末

や祝日にはさまざまなイベントを実施し、たくさんの方の来場者であふれ、大盛況のうちに終了しました。ご来場ありがとうございました。



▲50回を記念したモニュメント



▲振る舞いにできた行列



▲トマトみそ汁を受取る親子

「令和8年度 JA共済 全国小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール」3名が大賞受賞!!

令和8年2月6日(金)、「JA共済 全国小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール表彰式」が全ポスターコンクール表彰式にて開催されました。書道コンクールは今年で第69回、交通安全ポスターコンクールは第54回を迎えました。

書道コンクール条幅の部では応募作品総数66、858点の中から、玉名市立玉水小学校1年の笠應聖(りゅうおう)しょう(さん)が栄えある「農林水産大臣賞」を受賞されました。

交通安全ポスターコンクールでは、応募作品総数73、481点の中から、菊陽町立菊陽北小学校1年の川瀬紬子(かわせあやこ)さん、菊陽町立武蔵ヶ丘中学校2年の古賀夕渚(こがゆうな)さんの2名が「内閣府特命担当大臣賞」を受賞されました。

3名の受賞者は、全国から参加した受賞者とともに表彰式に出席され、賞状を授与されました。

これからも、JA共済は書道・交通安全ポスターコンクールの開催を通して、次代を担う小・中学生の書写教育や美術教育に貢献するとともに、コンクール出品作品の創作過程で培われる「思いやりの心」や「交通安全思想」を育む活動を続けてまいります。



JA共済 コンクール 検索



《農林水産大臣賞》
玉名市立玉水小学校1年
笠 應聖さん



《内閣府特命担当大臣賞》
菊陽町立菊陽北小学校1年
川瀬 紬子さん



《内閣府特命担当大臣賞》
菊陽町立武蔵ヶ丘中学校2年
古賀 夕渚さん

「胃がん」

日本人の死因の第1位は悪性新生物(がん)によると報告されています。その中でも胃がんによる死亡数は第3位となつています。現在は、検診・治療の進歩により死亡率は減少傾向にあります。新たに胃がんと診断される方は依然として多く50歳前後から高くなつてきます。

【症状】

早期の段階では自覚症状はほとんどなく、かなり進行しても症状がない場合もあります。代表的な症状は、胃の痛み・不快感・違和感、胸やけ、吐き気、食欲不振などがあります。また、がんから出血することによって、貧血を起したり、黒い便(血便)が出ることもあります。

【原因】

原因は様々ですが、いくつかの危険因子があります。まず挙げられるのがヘリコバクター・ピロリ菌です。日本における胃がんの約9割がピロリ菌感染が原因とされ、最大の原因因子と考えられています。また、塩分の摂りすぎ、喫煙などの生活習慣や、家族に胃がんの人がいるなど遺伝的要因も挙げられます。

【予防・治療】

予防には生活習慣の改善が効果的です。塩分の摂取を控える、野菜や果物を多く摂る、禁煙と適度な運動をすることなどが大事です。また、ピロリ

菌の除菌治療により感染者の胃がんリスクを大幅に減らすことができます。

【最後に】

胃がんは普段からきちんと検査や治療を受ければ完治できる病気でもあります。自覚症状が出にくいがんです。たとえ症状がなくても早期発見・早期治療のために定期的に胃がん検診を受診しましょう。

厚生連の人間ドックでは、胃部X線検査(バリウム検査)、胃内視鏡検査、ピロリ菌検査を受診できます。また、バリウムの飲みにくさを軽減するために、フレイバー(食品に使われる風味や味のないなどの香料のこ)を足すことで飲みやすくなっています。種類は現在、バイン、レモン、コーラの3種類があります。今まで受診されなかった人もこの機会に是非、受診してみてください。



その時、あなたは

食の未来も選んでいます。



JAグループ

日々のお買い物や食事は子どもたちの食の未来につながっています。食料の約6割を海外に頼る日本。いざという時に食料に困らないためにはどうすればいいのでしょうか。それには…



JAグループサポーター 林修

私たちの国で消費する食べものは、



できるだけこの国で生産する

国産消費国産

を進めていくことが大事です。そのために私たちが普段からできることは、「国産を選んで食べる」こと。それは、子どもたち世代の「食の未来を選ぶこと」なのです。

webでもぜひご覧ください！



JA全中国消費国産ページ



JAグループ熊本ホームページ

地域をつなげ、安心を育てる。

～JA共済の地域貢献活動～

JA共済

お子さまからシニア世代まで、地域の皆さまが、ずっと健康で安心して暮らせる地域社会をめざして、JA共済は、ひと、いえ、くるま、くらし・富農に関わるさまざまな地域貢献活動に取り組んでいます。

JA共済の地域貢献活動

詳しくはJA共済の地域貢献活動が知りたい方はこちらをご覧ください。
お問い合わせ先



シロアリ防除はJAへおまかせください

JAグループ

床下無料調査実施中

- 羽アリを近所や家の中で見かけたことがある。
- 最近、近所でシロアリの防除工事を実施した家がある。
- 増改築を行ったことがある。(または、行う予定がある。)
- 廊下等の床に「ブカブカ」するところがある。
- 最近浴槽等水廻りの入口敷居が「チンチン」しなくなった。
- 以前実施したシロアリ防除工事から、5年以上経過している。
- 柱等の木部を叩くと「空洞音」のずるところがある。
- 新築で建ててから、10年以上床下点検をしていない。
- 虫の木材等にシロアリによる被害がある。
- 雨漏りしている箇所がある。

今すぐチェック！
3つ以上あれば要注意です！

お申込み・お問い合わせはお近くのJA(農協)へ

全農

発行／熊本県農業者政治連盟

熊本市中区南土佐町2-3 電話 096-333-0881-1284

編集責任者／中村 隆宏

●発行日／令和8年3月15日(毎月1回15日発行)

●定価／1部50円(但し、会員の購読料は会費の中に含む)

さて、最近の将棋界では、藤井聡太さんが8つのタイトルを総なめにし、話題となり最年少記録も樹立しました。藤井さんの前が羽生善治さんで当時の7つのタイトルを独占し、永世や名人の称号を獲得しました。

最近はまだなかなかに将棋を指す機会もありませんが、小学生の頃自衛隊の宿舎で自衛官と指したの思い出します。

今年1月に亡くなった加藤一二三(愛称ひふみん)さんは神武以来の天才、はたまた1分将棋の神様の異名をもつ棋士です。現役を引退してからはテレビやラジオにもよく出演していました。将棋は日本の伝統的なボードゲームで、その魅力は奥深さや戦略性にあると言われています。何分も何時間も長考する姿が報道されます。いろんな棋士がいますが、大阪に坂田三吉という人がいました。大阪道頓堀で生活するために幼少の頃から賭け将棋を行っていました。この坂田三吉はのちに「王将」として映画やテレビドラマで上演され、歌にも唄われました。

「夜明けのポエム」



撮影：村上 憲雄 様

第14回 未来に伝えたい農業・農村の風景
フォトコンテスト入選作品

あ
と
が
き